

# 日本語中級聴解授業の実践報告

## A Report on an Intermediate Japanese Listening Class

青野 潤子  
AONO Junko

本稿は2015年度に、奈良佐保短期大学において実施された日本語中級聴解「日本語Va」の授業について報告するものである。「日本語Va」は、初級修了後の学習者が「日常生活やキャンパス内で専門分野以外のやり取りが理解できる」ことを主な目的としている。本稿では、聴解ストラテジーに基づき行われた授業活動について紹介する。また、「日本語Va」修了後、受講者にアンケート調査及び補足インタビューを実施し、授業内容を検討した。

調査等の結果、中級聴解は、学習者にとって日常生活に即した聴解に役立ったという回答を得られた。しかし、進学先である短大の授業において、講義を聞き取ることへの困難さに直面していることも見受けられ、本授業の振り返りや見直しの必要性が認識された。本稿では、中級聴解での役割を再確認した上で、聞き取りのレベルを上げるためにはどのような指導が必要であるのか、非漢字圏の学習者の立場から考察した。

キーワード：聴解ストラテジー，予測，推測，メモ取り，語彙リスト，要約

Key Words : Listening Strategy, Prediction, Inference, Note Taking, Vocabulary List, Summary

### 1. はじめに

奈良佐保短期大学では、生活未来学科及び地域こども学科から成る本科の他に、別科として日本語教育のコースが設置されている。日本語教育別科（以下、別科とする）は、日本語の修得を目指す外国人に対し日本語を教授し、又、日本文化に関する理解を深めてもらうことを目的としている。別科では、日本語初級、中級レベルの学習者を対象に、1年間でN3レベル以上への到達を目標とする授業が実施されている。日本語科目（I～VI）として、総合、読解、文法、文字・語彙、聴解、作文・小論文、さらに日本語能力試験対策の授業が開講されている。

本稿では、2015年度に実施された日本語中級聴解授業「日本語Va」の概要と実践について、受講学生へのアンケート調査及び補足インタビューの結果を踏まえながら、今後の問題点を明らかにし、改善策を探っていくこととする。

### 2. 聴解活動におけるストラテジー

日本語指導において、ストラテジーとは、学習者が限られた言語知識や技能でコミュニケーションを行わなければならないとき、不足した理解を補うために、学習者が用いる方策であると定義されている<sup>1)</sup>。聴解指導では、「理解できない」ものを含んだテキストを、ストラテジーを用いながら理解する方法を練習させていく。横山氏は、聴解活動を適切に行うために必要なストラテジーのうち、6つの主要なストラテジーを以下のように提示している<sup>2)</sup>。

- (1) 情報を選別する
- (2) 予測する
- (3) 推測する
- (4) 質問する
- (5) 反応する
- (6) モニターする

日本語教育別科の中級聴解では、これらのストラテジーを実行できるような練習を、で

きるだけ取り入れるようにした。

### 3. 「日本語Va」の授業概要

2015年度に、「日本語Va」の聴解授業を週2コマ×15回実施した。学習内容は、「耳から得た情報をもとに、話す・書く・読む活動に広げる」ことであり、学修成果として、「日常生活やキャンパス内で、専門分野以外のやりとりが理解できる。講義の一部が理解でき、メモが取れる。日本語能力試験N3レベル以上の聞き取りができる。」を掲げている。

#### 3-1 シラバス

2015年度「日本語Va」の「授業計画」は表1の通りである。

表1 2015年度「日本語Va」の授業計画

	授業計画		授業計画
1回	天気ニュース(易)	16回	政治関連のニュース(易)
2回	N3の聴解(課題を理解する)(易)	17回	N3の聴解(発話表現を選択する)(やや難)
3回	天気ニュース(やや難)	18回	政治関連のニュース(やや難)
4回	N3の聴解(課題を理解する)(やや難)	19回	N3の聴解(即時応答)(易)
5回	身近な話題のニュース(易)	20回	身近な話題のニュース(やや長め)
6回	N3の聴解(ポイントを理解する)(易)	21回	N3の聴解(即時応答)(やや難)
7回	身近な話題のニュース(やや難)	22回	事件・事故のニュース(やや長め)
8回	事件・事故のニュース(易)	23回	N3の聴解 復習
9回	N3の聴解(ポイントを理解する)(やや難)	24回	経済関連のニュース(やや長め)
10回	事件・事故のニュース(やや難)	25回	講義を聞いてメモを取る(前半)
11回	N3の聴解(概要を理解する)(易)	26回	政治関連のニュース(やや長め)
12回	経済関連のニュース(易)	27回	講義を聞いてメモを取る(後半)
13回	N3の聴解(概要を理解する)(やや難)	28回	ニュースの聴解を振り返る
14回	経済関連のニュース(やや難)	29回	講義で聞いたことを伝える(前半)
15回	N3の聴解(発話表現を選択する)(易)	30回	講義で聞いたことを伝える(後半)

#### 3-2 対象者

2015年度の中級聴解の対象者は、初級修了レベルの留学生であり、前期に2014年度9月入学インドネシア人留学生1名、後期に2015年度4月入学インドネシア人留学生1名の計2名が受講した。

#### 3-3 教材

2015年度中級聴解では以下の教材を取り上げた。

- (1) 『みんなの日本語中級I本冊』
- (2) 『中級からはじめるニュースの日本語聴解40』より抜粋
- (3) 「オノマトペ」「味の話」「日本人の生活時間」に関するオリジナルのパワーポイント(以下PPT)資料

#### 3-4 授業内容

- (1) 『みんなの日本語中級I本冊』の「話す・聞く」パート(2, 4, 6, 9, 11, 13, 15, 17, 19, 21, 23回目)  
(授業の流れ)
  - ① 会話文のイラストを見て、内容を予測する
  - ② 新出語・語彙の確認

- ③1 回目の CD 再生時はメモを取りながら全体を通して聞く
- ④2 回目の CD 再生時 は段落ごとに聞き、部分ディクテーションをする
- ⑤要約や内容・表現理解のタスク
- ⑥スクリプトの音読
- ⑦タスクを使った会話練習

『みんなの日本語中級 I 本冊』の「話す・聞く」パートは、日常生活の中での交渉会話を中心にしたコミュニケーション場面で構成されている総合聴解の教材である。自然な速さの日本語に慣れ、要点を聞き取り、問題に対処できる力を養っていくことを意図している。また、発展的な会話につながる練習ができる。

- (2) 『中級からはじめるニュースの日本語聴解 40』(1, 3, 5, 7, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28 回目)

(授業の流れ)

- ①タイトルから予測できることと主要語彙の確認
- ②1 回目の CD 再生時 はメモを取りながら全体を通して聞く
- ③2 回目の CD 再生時 は段落ごとに聞き、部分ディクテーションをする
- ④要約や内容理解のタスク
- ⑤トピックについての感想や意見を話す

『中級からはじめるニュースの日本語聴解 40』は、経済・政治・社会・生活など幅広い分野において、ニュースの特徴的な表現や語彙を学び、日本社会をより深く理解するきっかけを作ることを意図している時事聴解の教材である。

- (3) オリジナルの PPT を用いた講義 (25, 27, 29, 30 回目)

テーマは、「オノマトペ」「味の話」「日本人の生活時間」で 1 回約 10 分程度の講義。

(授業の流れ)

- ①それぞれのテーマに関して、教師の説明を聞きスライドを見てメモを取る
- ②キーワードをチェックし、内容確認や要約をする
- ③内容についての感想や意見を発表する

講義形式の授業を実施し、予測や推測によるトップダウン処理の練習をする。テーマには抽象的な内容も含まれるため、スライドにグラフ・表・イラストなどを用いて講義内容を補足した。

### 3-5 成績評価

中級聴解の成績評価は、授業参加度 80%、課題の達成度 20%としている。課題の達成度は、毎回行う課題タスクや部分ディクテーション、3 回の PPT 講義についての要約発表などから判断した。

## 4. 学習者の授業に対する評価・コメント

### 4-1 授業アンケートと補足インタビュー

2015 年度中級聴解を受講した 2 名の留学生に対し、短大進学後の 2016 年 7 月 21 日にアンケート (付表 1) を行い、回収直後に補足インタビューを行った。アンケートは、授業及び教材内容、授業活動等についての項目から成っている。授業及び教材内容については当てはまる項目を選択・記述してもらい、授業活動やその他に関する項目は記述してもらった。アンケートの結果 (一部抜粋) は、表 2 の通りである。

### 4-2 アンケートの結果

- (1) 授業内容・教材内容に対するアンケート結果

表 2 より、3 タイプの授業内容は、ともに「役に立つ」と回答され、『中級からはじめるニュースの日本語聴解 40』(以下『ニュースの日本語』) と PPT 講義は、「おもしろい」と回答された。また、教材内容について、『みんなの日本語中級 I 本冊』(以下『みんなの日本語』) と『ニュースの日本語』は「やさしい」と回答され、『ニュースの日本語』と PPT 講義は「おもしろい」と回答された。

表2 「日本語Va」授業アンケートの結果（一部抜粋）

分類タイプ	総合聴解	時事聴解	講義
使用教材	『みんなの日本語中級 I 本冊』/CD	『中級からはじめるニュースの日本語聴解 40』/CD	「オノマトペ」「味の話」「日本人の生活時間」/PPT スライド
授業内容	役に立つ (2名)	役に立つ/おもしろい	役に立つ/おもしろい
教材内容	やさしい (2名)	おもしろい/やさしい	おもしろい (2名)
印象的に残っているトピック	なし	「ペンギン、逃げ出す」「変わった味のソフトクリーム」	「オノマトペ」(2名)
おもしろかった授業のタイプ	○	○	

表2では、回答者は合計2名であり、表記のない箇所は回答者1名とする。

「おもしろかった授業のタイプ」は、「総合聴解」(1名)と「時事聴解」(1名)である。調査によると、「総合聴解がおもしろい」と答えた理由は、「様々な場面の会話があり、イラストを見ながら聴くことが楽しかったから」ということであった。また、「時事聴解がおもしろい」と答えた理由は、「速い速度で話すのでレベルアップの機会になったから」ということであった。難易度に関しては、特に難しいとされるものはなかった。

## (2) 授業活動やその他の項目に関するアンケート結果

以下に、該当項目の質問と回答を記述する。

(質問)「聴解は何の勉強に役立ちましたか」

(回答)「話し言葉」(2名)

(質問)「CDを聞きながらメモを取ることができましたか」

(回答)「取れた」(2名)

(質問)「うまく聞き取れなかったときどうしましたか」

(回答)「先生にもう一度お願いする」(2名)

(質問)「全体的に、聴解はどこが難しいですか」

(回答)「話す速さ」(2名)

(質問)「聴解は、ほかの授業(文法、読解、漢字)に比べてどうですか」

(回答)「一番楽しかった」(1名)

「文法のほうが難しかった。文法の例文と使い方は難しかった」(1名)

(質問)「勉強したいトピックはありますか」

(回答)「アニメーション」(1名)、「ビジネス」(1名)

学生は「CDを聞きながらメモを取ることができた」と回答しているが、メモ取りが内容理解に生かしていたかどうかは不明であった。今後は、ノートチェックをし、メモを取った語彙について、文脈の中の意味を確認したり、それらを語彙リストとしてまとめるなど、学習後に見てわかるノート作りにつなげていきたいと考える。

「CDをうまく聞き取れなかったときどうしたか」については、「先生にもう一度お願いする」ということであった。少人数のクラス編成のため、教師は学生の反応に応じて、一つのスクリプトを複数回聞かせることができた。

次に、「聴解はどこが難しいか」については、「話す速さについていけない」という

点を挙げていた。これについて、教師は本文の速度を落として読み進めたが、全ての語彙を事前に説明しているわけではないので、理解できない文もあったと思われる。聴解では、意味の不明な語彙に遭遇しても、前後の文脈から判断することを目指したが、実際は知識不足のため、中級コース前半では推測するといった能力はなかなか上達しなかったと思われる。

また、学生は「聴解はほかの日本語授業よりも取り組みやすい科目であった」と回答しており、他に勉強したいトピックについても、いくつか挙げていた。

### (3) 聴解授業修了後の実態についてのアンケート結果

以下に、該当項目の質問と回答を記述する。

(質問)「短大授業の聞き取りはどうですか。日本語教育別科の聴解授業が役立ちましたか」

(回答)「短大の授業がわかりやすくなる、とても役に立つ」(1名)

「おもしろい、とても役に立つ、大学とだいぶ違う」(1名)

アンケートによると、「短大の授業において、聴解授業が役立った」と回答された。しかし、短大の授業が無理なく理解できる聴解のレベルに到達しておらず、講義などの聞き取りに困難さを感じていることも伺われた。今後、短大での授業を少しでもスムーズに聞き取れるように、中級聴解で可能な対策を考えていかなければならないことを認識した。

#### 4-3 補足インタビューの結果

以下に、補足インタビューの内容を記述する。

(質問)「聴解授業でよくなかったことは何ですか」

(回答)「内容がやさしすぎたので、だんだん難しくしてほしい」(1名)

「もっといろいろなトピックをしたかった」(1名)

(質問)「みなさんは何がよくなかったですか」

(回答)「もっと勉強すればよかった」(2名)

(質問)「短大の授業はどうやって勉強していますか」

(回答)「ことばをスマホで調べる。わからないときはだれかに聞く」(1名)

「できるだけ自分で調べている。わからないときは友だちに聞く」(1名)

補足インタビューでは、「内容がやさしすぎたので、だんだん難しくしてほしい」、「もっといろいろなトピックをしたかった」など教材への物足りなさを指摘する意見も聞かれた。アンケート調査においても、学生はさまざまな分野のトピックに触れることを希望している。今後、学生のニーズも考慮しながら、有益な教材を検討していかなければならないと思われる。また、学生自身が聴解での勉強不足を自覚しているが、聴解は自分自身では系統立てた学習がしにくい科目であろう。今後、語彙テストなどによるフィードバックを定期的に行い、習得が曖昧な箇所を把握して、弱点を明確にしていかなければならないと考える。短大進学後、学生は課題などを自力で調べようとしている姿勢は見られるが、一人では解決できない課題が多くあることも明らかになった。

#### 5. まとめと今後の課題

本稿では、2015年度の留学生の中級聴解授業を中心に、学習内容や指導過程、学習者の反応などを報告した。目標の一つである「日常生活やキャンパス内で専門分野以外のやりとりが理解できる」については、「話し言葉に役立った」という評価が得られ、ほぼ目標に達したと思われる。しかし、聴解は「おもしろい」や「やさしい」という印象に留まり、



「講義の一部が理解でき、メモが取れる」といった活動での成果は見られず、目標到達への指導不足が浮かび上がった。

短大進学後の実態を見ると、授業活動である「メモ取り」や「要約」に関して、表面的な作業にとどまり、内容を予測・推測するといった発展的な力を養えなかったため、他の聴解に応用できないことが明らかになった。知識の定着のためには、確認テストなどで学習した語彙を確実なものにしたり、類似トピックのスキriptを読ませ、既習語を復習させたりといった授業内容の改善が必要であることがわかった。

実際の短大の授業では、繰り返しが可能な音声教材と異なり、講義をその場で理解し、課題を考察する力が必要である。一回限りの講義の中で、要点を聞き取り理解するには、まず「メモ取り」や「部分ディクテーション」での練習を充実させ、短時間での「要約」を可能にしていかなければならない。文字より音声からの情報の方が優勢である<sup>3)</sup> 非漢字圏の学習者にとって、聞き取りにおいても、書く作業が重要になることを認識させていきたい。今回の実践報告は、対象者が少なく学習者の母語も限定的であるが、今後も中級聴解授業修了後の実態を調査し、結果を検討して効果的な聴解授業を目指したいと考える。

### 引用・参考文献

- 1) 国際交流基金, 横山紀子著:『聞くことを教える (国際交流基金日本語教授法シリーズ 5)』, ひつじ書房, p.9 (2008)
- 2) 国際交流基金, 横山紀子著:『聞くことを教える (国際交流基金日本語教授法シリーズ 5)』, ひつじ書房, p.22 (2008)
- 3) 三國純子,小森和子,近藤安月子:「聴解における語彙知識の量的側面が内容理解に及ぼす影響: 読解との比較から」, 『日本語教育』, 125, pp.76-85 (2005)
- 4) 饗場淳子:「超既習クラスにおける「時事聴解」の試み: 国費学部留学生予備教育プログラム (1年コース) における授業の報告」, 『東京外国語大学留学生日本語教育センター論集』, 39, pp.125-136 (2013)
- 5) 沖田弓子:「世界知識の拡大を目標とした「日本語聴解」授業の報告」, 『筑波大学留学生センター日本語教育論集』, 24, pp.115-131 (2009)
- 6) フォード順子, 小林典子:「聴解授業『講演・講義を聴く』を行って: 聞き取りの負担を軽くするために」, 『筑波大学留学生教育センター日本語教育論集』, 5, pp.85-97 (1990)
- 7) 横山紀子:「インプットの効果を高める教室活動: 日本語教育における実践」, 『日本語国際センター紀要』, 9, pp.37-54 (1999)

## 付表1 日本語教育別科 2015年度中級聴解授業アンケート

日本語教育別科 2015年度中級聴解授業 アンケート				
きょういくべつか	ちゅうきゅうちゅうがいかいじゅぎょう			
日本語教育別科	2015年度中級聴解授業			
ちゅうきゅう	じゅぎょう			
1. 「みんなの日本語 中級」の授業はどうでしたか。				
・役に立つ	・役に立たない			
・おもしろい	・おもしろくない			
・やさしい	・むずかしい			
2. 「みんなの日本語中級」のテキストはどうでしたか？				
・おもしろい	・おもしろくない			
・やさしい	・むずかしい			
3. 「ニュースの日本語」の授業はどうでしたか。				
・役に立つ	・役に立たない			
・おもしろい	・おもしろくない			
・やさしい	・むずかしい			
4. 「ニュースの日本語」のテキストはどうでしたか？				
・おもしろい	・おもしろくない			
・やさしい	・むずかしい			
5. 印象に残っているニュースはありますか。	( )			
理由は何ですか。	( )			
6. PPTの授業はどうでしたか。				
・役に立つ	・役に立たない			
・おもしろい	・おもしろくない			
・やさしい	・むずかしい			
7. PPTの授業のトピックはどうでしたか。				
・役に立つ	・役に立たない			
・おもしろい	・おもしろくない			
・やさしい	・むずかしい			
勉強したいトピックはありますか。	( )			
8. 聴解は何の勉強に役立ちましたか。				
・ことば	・漢字	・文法	・日本文化	・話し言葉
・その他 ( )				
9. どのタイプの授業がおもしろかったですか。				
・総合聴解 (「みんなの日本語」)				
・時事聴解 (「ニュースの日本語」)				
・PPT講義				
理由は何ですか。	( )			
10. CDを聞きながらメモを取ることができましたか。				
・取れた	・あまり取れなかった	・ぜんぜん取れなかった		
11. 全体的に、聴解はどこがむずかしいですか。				
・話す速さ	・ことば	・内容	・背景知識	
・その他 ( )				
12. うまく聞き取れなかったとき、どうしましたか。	( )			
13. 聴解は、ほかの授業 (文法、読解、漢字) に比べてどうですか。	( )			
14. 専門授業の聞き取りはどうですか。日本語教育別科の聴解授業が役に立ちましたか。	( )			
15. 意見や感想など自由に書いてください。	( )			

